

## 移転促進団地の入居希望者募集(一般公募)

防災集団移転促進事業で整備した以下の団地において、宅地の分譲・賃貸を希望する人を募集します。

### 1 団地名・公募区画数 (9団地72区画)

	団地名	公募区画数
①	田の浦団地	2
②	馬場・中山生活センター西団地	4
③	館浜団地	1
④	柘沢団地 (みねはた団地)	11
⑤	清水団地	8
⑥	志津川東団地	5
⑦	志津川中央団地	19
⑧	戸倉団地	21
⑨	長清水団地	1



- ③り災証明書 (再建していない人で、半壊以上を持っている人のみ)
  - ④申し込みする人の住民票抄本
  - ⑤滞納がないことの証明書 (住居予定者全員分)  
住民登録している市町村から、平成25年度から29年度 (5年度分) までの市町村税 (普通税) の完納証明書などを添付してください。
- ※募集要項 (提出書類用紙を含む) は、町ホームページに掲載するとともに復興推進課および歌津総合支所で配布します。

### 2 応募条件

- ①自ら居住する目的で戸建住宅を建設する計画のある人
- ②各団地および周辺の地域活動を理解し、参加できる人

### 3 応募資格

- ①不動産の売買または賃貸に係る契約を結ぶ能力について、法令上の制限を受けていない人
- ②破産者でない人
- ③税金を滞納していない人
- ④暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律 (平成3年法律第77号) 第32条第1項各号に掲げる項目に該当しない人

### 4 募集期間

5月7日(月)～6月8日(金) [土日を除く]  
受付時間：午前8時30分～午後5時15分

### 5 提出書類

- ①移転促進団地一般参加申込書
- ②印鑑 (認印で可。浸透印は不可。)

### 6 提出方法

復興推進課事業推進係 (役場第2庁舎1階) に直接または郵送で提出。  
なお、郵送の場合は6月8日(金)の消印有効

### 7 宅地決定の優先順位

1つの宅地に複数の人から参加申し込みがあった場合、以下の基準をもとに宅地を決定します。

- ①1つの宅地に複数の人から申し込みがあった場合は、優先順位の上位の人に宅地決定します。
- ②優先順位者が同位だった場合は、抽選により宅地決定します。

※優先順位について、詳しくは募集要項をご確認ください。

☎復興推進課事業推進係 ☎46-1382



「さまざまな人が関わりあいを持ちながらたくさんのアクションが起こっている町。それを伝えていきたい」と意気込む佐藤さん

小さいころから  
大好きな地元の魅力为全国へ

春の訪れとともに、町には全国各地からの観光客が訪れる。そんな観光客の窓口となる南三陸町観光協会に、ひととき元気のよい声が響いている。

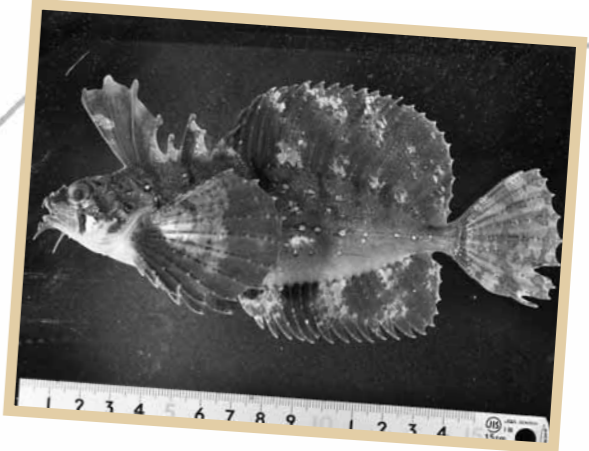
南三陸町志津川出身の佐藤可奈子さん、21歳だ。小さい頃から地元の海や里で遊ぶことが大好きで、将来もこの町で暮らしていくことを疑わなかったという彼女。そんな町が一変した大震災が起こったのは、彼女が中学1年生のときだった。「ドラマみたいで、受け止めきれず、なにを失ったのかもわかっていなかったでしょうね」と当時を振り返る。

震災からわずか1カ月足らずで開催された「復興市」の会場に佐藤さんは足を運んだ。すると顔なじみの役場職員から、「私はただのそきに行っただけなのに『いいから手伝え!』と怒られたんですよ」と笑う。「でも、『町のために』と頑張っている姿はとても刺激になった」と話す。

志津川高校に進学し、仲間とともに町の魅力を伝えていく活動も実施。多くの人と関わりあいながらこの町の新たな魅力も知った。卒業後、一度は町外で就職したものの、今年から地元観光協会に活躍の場を移した。「大好きな町」の魅力为全国へ。そんな若者の想いがこの町を創っていく。

☞南三陸なう 検索 可奈子さんをもっと詳しく知りたい人は、南三陸町公式ブログ 南三陸なうをご覧ください。

### ネイチャーセンター準備室だより 磯のテング



先日、カニ籠の中に珍しい魚が入ったとの連絡があり、一匹の魚がネイチャーセンター準備室に届けられました。赤みがかった茶色の体に幅広いヒレが特徴の美しい魚です。この魚は「イソバテング」と呼ばれるカジカの仲間です。名前のとおり、海藻が揺らめく磯を素早く飛び回る魚なので、水中で捕まえるのも写真を撮影するのも難しい魚です。

ネイチャーセンター準備室では、震災によって流失した生物標本を地道に採集し直し、南三陸町沿岸の生物情報を記録する仕事も続けています。既に900を超える標本が集まりましたが、このイソバテングはまだ採集されていませんでした。

春は海藻が生い茂る季節です。そして、イソバテングの産卵期でもあります。海藻の森を泳ぎ回り、産卵する場所を探している間にカニ籠の中に入り込んでしまったのでしょうか。今は貴重な標本として大切に保存されています。ネイチャーセンターが再建されれば、こうした生き物たちの標本も、皆さんにご覧いただけることでしょう。

☎農林水産課 ネイチャーセンター準備室 ☎25-9703